

第 1 号議案**「地域集積協力金」の使途について(案)**

農地中間管理機構（現「滋賀県農林漁業担い手育成基金」）による農地集積・集約化対策事業による「地域集積協力金」の当組合への支払いについては、過般(平成 27 年 10 月 9 日)振込(7,185,600 円入金)がされました。

使途としては、当町の『将来農業』ならびに今後の『攻めの農業』を見据え、また、行政よりの「将来にわたる地域農業の発展に係るインフラ作り等が望ましい。」との指針にも基づき、経営役員会で鋭意協議・検討の結果、平成 22 年当組合設立以来最大の懸案事項であります新格納庫の建設について、検討を進めたく考えます。

しかしながら、新格納庫の建設には建設場所ならびに多額費用の捻出等幾多の課題がありますが、現段階において次のとおり整理いたしました。

1. 建設場所（地権者了解済み）

村地傳一氏畑(地番:倉橋部町 89 番地)(旧分教所隣) 面積:561 m²(登記面積)を賃借

*村地傳一氏と当組合間で賃貸借契約を締結する。

<賃借料：未定>

2. 建設費用（概算額）

概ね 3000 万円程度必要と考えます。

概算見積→（建築面積：約 350 m²、<106 坪>、建屋の高さ：5 m）

※現行農業倉庫：80 m²（外屋含まず）

① 資金計画

*吉永会計事務所とも協議いたしました。

ア. 地域集積協力金→ 720 万円(入金済み)

イ. 自己資金→ 700 万円

<H27 推定決算値（*預金残高より推定）>

(H27. 12. 31 の予想預金残高) 普通預金	2100 万円	(2015. 11. 13 現在 2022 万円)
定期預金	358 万円	(確定)
(計)	2458 万円	・ ・ ・ (a)

* 普通預金の期首残高 (1/1) 1055 万円

〃 予想期末残高 (12/31) 2100 万円 (地域集積協力金 720 万円含む)

→→→上記 (12/31) - (1/1) = 約 300 万円弱の黒字決算を予想

(参考) H26 の場合 250 万円の赤字決算	
* 普通預金の期首残高 (1/1)	1346 万円
〃 期末残高 (12/31)	1055 万円

従って、自己資金として

- ・ (a) - 720 万円 (地域集積協力金) = 1738 万円・・・(b)
- ・ 1000 万円 (通常運用資金+安全運用考慮しての資金等) を控除・・・(c)
- ・ 今回の自己資金として (b) - (c) 約 700 万円 を計上

ウ. 借入→ 1580 万円(スーパーL 資金) 借入先: 日本政策金融公庫
 (計) 3000 万円

② 借入金返済の見通し

平成 28 年度より年間 158 万円の返済が発生いたします。

財源として

【プラス要素】

- ア. 減価償却費 109 万円 ((別紙) 試算 (案) の No.1+No.2)
- イ. 施設利用料の減少額 1426 千円
- (計) 2516 千円・・・(A)

【マイナス要素】

- ア. 燃料費 17 万円 ((別紙) 試算 (案) の No.3)
- イ. 水道光熱費 8 万円 ((別紙) 試算 (案) の No.4)
- ウ. 労務費 20 万円 ((別紙) 試算 (案) の No.5)
- エ. 借入金利息 0 円 (H28~H32 まで) ((別紙) 試算 (案) の No.6)
- オ. 固定資産税 11 万円 (土地+建物) ((別紙) 試算 (案) の No.7+No.8)
- カ. 賃借料 未定 ((別紙) 試算 (案) の No.9)
- (計) 56 万円・・・(B)

【プラス要素】(A) - 【マイナス要素】(B) = 1956 千円

従って、賃借料を加味しても返済は可能と考える。

(別紙) 新格納庫建設による組合決算書 (損益) に対する影響試算 (案) 参照願います。

3. 建設における効果（メリット）

- ① 村地民雄さん、村地純子さんより乾燥設備を時価で買取り、新格納庫へ移設により6反分/日の乾燥・調整（粃摺り）が可能となり、(株)ナカエへの施設利用料の支払いが無くなるとともに、JA に対する施設利用料も低減できます。
- ・ H27(株)ナカエへの支払施設利用料（飯用米の乾燥調製代金） 485,572 円
- ② 飯用米袋詰め重量を現行 30 kg から 15 kg への変更が可能となり、販売袋数の増加が見込めます。（特に何合・南新材家販売分）
- ③ 水稲において適時適量且つ時間ロスゼロの刈取りが可能となり、自前施設と JA カントリーとの複合運用が可能となります。
- ④ 現在 JA グリーン近江における施設は 14 施設あり、環境カントリー以外全て旧合併前に建設されており年々修繕費等がかさみ、稼働率は 51% と年々低下いたしており現在施設全体の再編計画を検討されておられます。（JA 総代会での説明）
- また、カントリーの施設利用料については本年度より 1 円/荷受重量 引上げられました。そうした事からして、近い年度 更なる値上げが推察される状況であり、自前施設の設置も別の選択肢として必要性が増しております。

EX)

ア. 水稲

水稲刈り取り面積を 1 日あたり 9 反とし、6 反を組合施設で乾燥・調整を行う。残り 3 反を JA カントリーへ持ち込む。

・平成 27 年度米施設利用料

JA への支払額（米のみ）： 1,654,250 円

(株)ナカエへの支払額： 485,572 円

(計) 2,139,822 円・・・(a)

☆支払米施設利用料の減少額 (a) × 2/3 = 1,426,548 円

(参考) H27 水稲収穫状況

品種名	面積	今年度収穫
みずかがみ	17.6 反	・刈取り日数：延べ 9 日 ・一日あたりの平均刈取面積：14.2 反
コシヒカリ	36.9 反	
キヌヒカリ	24.5 反	8/24 みずかがみ、9/5 コシヒカリ、9/11 コシヒカリ、 9/12 コシキヌ、9/14 キヌ・日本晴、9/15 日本晴、 9/16 日本晴、9/19 日本晴・秋の詩、9/20 秋の詩
秋の詩	33.7 反	
日本晴	15.4 反	
計	128.1 反	

☆一日当たりの収穫面積を 9 反とすると

128.1 反 ÷ 9 反 = 14.2 日 となる。

4. 建設における懸念事項（デメリット）

- ① 農業情勢等先行き不透明な中での固定資産の取得
- ② 費用の発生

ア. 借入金の支払利息（スーパーL資金）

借入金（固定金利）：10年（0.35%）の場合

平成28年から平成32年（5年間）・・・無利息

平成33年 → 27,650円

平成34年 → 22,120円

平成35年 → 16,590円

平成36年 → 11,060円

平成37年 → 5,530円（完済）

※15年の場合（0.55%/年利）、20年の場合（0.7%/年利）となります。

何れも固定金利です。（平成27年11月1日現在）

- イ. 土地固定資産税 約6,000円/年
- ウ. 建物固定資産税 約100,000円/年
- エ. 賃借料 60,000円/年

5. むすび

今後新格納庫の建設を検討する上においては、「H28 経営体育成支援事業」（国の補助事業、市役所農業振興課：伊藤氏より報告）ならびにT P P関連の補助事業等が示された段階で、該当可否等を見極めたく考えます。また、上述による新格納庫の建設額等は現段階における整理であり、確定額を含む新格納庫建設に係る全容は、翌年通常総会（平成28年2月21日（日）予定）にお諮り致します。

以上